

資産運用レポート：大和住銀日本小型株ファンド

1 はじめに

三井住友DSアセットマネジメントのウェブサイトに、苦瓜達郎氏の運用している大和住銀日本小型株ファンドの運用報告書がアップされています。

<https://www.smd-am.co.jp/fund/0841/>

直近1年間のパフォーマンスは20.9%を達成し、10.9%上昇したJASDAQインデックスを大幅に上回りました。

苦瓜氏は、6月10日付の運用報告書にて、次のように述べています。

2018年以降の小型株市場は、3年間にわたって成長イメージの強い銘柄に資金が集中したため、PER（株価収益率）・PBR（株価純資産倍率）などで見た市場内格差は、かつてないほど拡大しました。

一方、割安銘柄には依然として放置されているものも多く、実体経済の正常化につれて反発することが期待できます。当ファンドでは、今後も割安株投資を徹底します。

目先のパフォーマンスを追わず、投資方針を堅持する姿勢は立派です。

今回の資産運用レポートでは、大和住銀日本小型株ファンドの運用報告書について、個人的に目に付いた箇所を中心に見ていきます。

★当期中の基準価格と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		JASDAQ INDEX		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 組 入 比 率
	円	騰 落 率	(参考指数) ポ イ ン ト	騰 落 率		
(期 首) 2020年6月10日	16,893	—	166.35	—	91.0	—
6月末	16,504	△ 2.3	162.86	△ 2.1	94.5	—
7月末	15,488	△ 8.3	159.03	△ 4.4	94.5	—
8月末	16,614	△ 1.7	166.60	0.2	95.1	—
9月末	17,097	1.2	172.09	3.5	95.4	—
10月末	16,727	△ 1.0	169.54	1.9	94.7	—
11月末	17,881	5.8	177.90	6.9	94.3	—
12月末	18,447	9.2	181.64	9.2	94.4	—
2021年1月末	18,624	10.2	181.34	9.0	94.8	—
2月末	19,131	13.2	184.53	10.9	94.9	—
3月末	20,358	20.5	189.08	13.7	93.8	—
4月末	20,078	18.9	185.37	11.4	94.5	—
5月末	20,198	19.6	182.74	9.9	94.4	—
(期 末) 2021年6月10日	20,419	20.9	184.54	10.9	98.1	—